



秋田県青少年交流センター広報

平成29年3月17日発行

第15号

せしゅゆう

〒011-0905 秋田市寺内神屋敷3-1
Tel 018-880-2303 Fax 018-847-6350
e-mail youthpal@tkcnet.ne.jp
url http://homepage2.nifty.com/youthpal/

AKITA PREFECTURAL YOUTH CENTER



「 学びの支援を 」

秋田県青少年交流センター
所長 佐藤悦郎
(一般財団法人 秋田県青年会館 理事長)

3月も半ばを過ぎて、日を迫うごとに一段と陽光も力強さを増し、周囲の木々も芽吹き的气氛を漂わせ始めております。雪国に住む者にとって待ちに待った季節となりました。

さて、秋田県青少年交流センターは「青少年教育振興のために青少年を対象とした様々な研修を行うとともに、青少年団体の活動の拠点として交流の機会を提供し、県民の様々な生涯学習の場として広く活用されること」を目的として設立されました。平成23年度からは、一般財団法人秋田県青年会館が指定管理者として、各種主催事業を運営し、現在に至っております。

今年度の重点目標は、青少年の社会参加活動の推進、学校教育外活動の支援、高校生の国際感覚の育成などであり、職員のスキルアップに努めながら、プログラムの充実を目指して運営してまいりました。

ここに平成28年度主催事業等をご報告申し上げ、ご参加とご支援を得た多くの皆様への感謝に代えさせていただきます。今後とも、当センターの研修事業にご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度

秋田県青少年交流センター主催事業から

1 高校生徒会ネットワーク会議 (H16年度からの事業)

期 日：平成28年5月20日(金)～21日(土)

参加者：県内15校38名(男子14名、女子24名)

県北・県央・県南の4校7名の生徒たちが実行委員を自発的に引き受け、企画・運営のための実行委員会を4回開催しました。

交流会議では、より充実した生徒会活動を推進するために情報交換が行われ、魅力的な活動への手がかりを求めて、熱心な研修・討議・発表が行われました。

事前資料として、県内30校から報告があり、討論の参考となりました。

討論のテーマは「理想の生徒会像」「生徒の意見をより集約させるためには」の2つで、6グループに分かれて話し合いが行われ、その内容を発表しました。参加した生徒からは、「他校のいろいろな意見が聞けて、現状を知ることができた。」「今後の改善のヒントが見つかった。」「生徒の意見集約については継続して取り上げてほしい。」「今回の意見交換で得たものを生徒会で生かしていきたい。」というコメントが寄せられました。



平成29年度の予定

平成29年5/19(金)～20(土)

2 高校生リーダー養成「ニューリーダーセミナー」(H20年度からの事業)

期 日：平成29年2月17日(金)～18日(土)
参加者：県内23校67名(男子34名、女子33名)

生徒会役員を中心に新しくリーダーとなった生徒たちが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとしての資質の向上を目指して実施しました。

研修初日、「高校生のための主権者教育セミナー」に参加した後、開講式を行、その後、グループ構築ゲームを行いました。和気あいあいとした雰囲気の中にも真剣に取り組んでいました。

夕食をはさんだ夜のグループ討議①では、「それぞれが思うリーダーの形」をテーマに、自分が思うリーダー像について討議しました。翌日のグループ討議②では、「私たちのリーダーの形」というテーマで、グループごとにあるべきリーダーの姿を確認しました。生徒たちからは、新年度を控えて自分たちの取り組むことができ、参加してよかったという声があがりました。また、韓国寧越郡の高校生との交流も好評でした。



平成29年度の予定
平成30年2/16(金)～17(土)

3 高校生のための主権者セミナー(ニューリーダーセミナーと合同実施)

期 日：平成29年2月17日(金)
参加者：県内23校77名(男子39名、女子38名) 教職員2校2名
(ニューリーダーセミナー参加者を含む)

18歳からの選挙権の付与に伴い、高校生を対象に投票権の行使や政治的教養について学ぶ機会を提供し、主権者としての自覚の高揚を図ることを目的に開催されました。

最初に飯田川町(現潟上市)出身の東京大学大学院教育学研究科教授の小玉重夫先生から「私たちの一票」と題してグループワークを交えた講演をしていただき、その後、全員で模擬投票体験を行いました。

平成29年度の予定
平成30年2/17(土)



4 青少年国際交流事業(H23年度からの事業)

※秋田県青少年交流センターは平澤市青少年文化センターと相互交流協定を締結しています。

期 日：第1期 平成28年7月22日(金)～26日(火)
第2期 平成28年8月4日(木)～8日(月)
参加者：県内6校9名(女子9名)

海外の青少年と相互交流を通じて、交流先の文化や歴史を学ぶとともに国際感覚を身につけ、グローバル化に対応する青少年の育成を図ることを目的に実施しています。

(1) 第I期 秋田県高校生韓国訪問

今年度は、本県9名の高校生が、5日間の日程で韓国平澤市を訪問しました。歓迎セレモニー、民俗行事体験、ホームステイ、コミュニティー活動などを通じて、パートナーとの親交を深めました。生徒たちからは、「短時間でこんなに親密になれるとは、自分自身信じられませんでした。」「非常に濃密で貴重な体験でした。」といった感想が聞かれました。



※韓国訪問時の7月23日、秋田県青少年交流センターは平澤市青少年文化センターと「相互交流協定」を再締結いたしました。これにより、相互訪問による交流事業を今後5年間継続実施することになりました。

(2) 第Ⅱ期 韓国・平澤市高校生秋田県訪問

第Ⅰ期でパートナーを務めてくれた韓国の高校生12名(男子6名、女子6名)が来秋し、パートナーの本県高校生たちと親しく交流しました。秋田和洋女子高校郷土文化部による秋田民謡体験、高校生のヤートセチーム闘心乱華との交流などのほか、男鹿半島探訪、県立博物館でのたたみ染め体験、本県生徒宅へのホームステイなど、盛り沢山のプログラムを実施しました。韓国の高校生たちからは思い出に残る訪問になったと感謝の言葉をいただきました。

平成29年度の予定(平澤市との相互交流)

Ⅰ期訪問:平成29年7/27(木)~31(月)

Ⅱ期受入:平成29年8/3(木)~7(月)



5 イングリッシュキックスプロジェクト (H26年度からの事業)

期日:平成28年8月11日(木)~13日(土)

参加者:秋田市内小学校5・6年生26名(男子12名、女子14名)

子どもたちが外国の人とともに活動・体験することを通して、他国の言語をより身近に感じて自らコミュニケーションをとる積極性を育むことを目的に開催しました。

開催初日、アイスブレイクで仲良くなった後、早速3人の先生のもと3班に分かれて「英語でチャレンジ」に取り組みました。簡単な絵カードを使って英単語を習いながら英文名刺づくりチャレンジ。出来上がった英文名刺を交換しながら、自己紹介し合いました。先生の出身国(アメリカ、フィリピン、インドネシア)についてお話を聞いたり、私の夢を英語で書く学習に取り組みました。学習の合間のスポーツ交流や絵灯籠作り、ナイトハイクなどを楽しみました。最終日の「活動発表」では、それぞれが私の自己紹介と自分の夢について英語で発表しました。発表が終わるたびに会場からは「Good Job!」の声が響き、子どもたちは嬉しそうでした。体験を通じながら英語の「聞く」「読む」「話す」「書く」に親しんだ3日間でした。



平成29年度の予定

平成29年8/10(木)~12(土)

6 ユースボランティア認定事業 (H22年度からの事業、今年度より名称変更)

期日:平成28年7月2日(土)

参加者:5名(男子3名、女子2名:大学生4名、高校生1名)

青少年ボランティアグループのネットワーク形成や充実した活動を行うための資質の向上を図ること及びボランティア養成を目的に、秋田県立岩城少年自然の家を会場に交流会を実施しました。

今回は「災害時の活動と防災」を中心に運営しました。「プロジェクトアドベンチャー」「災害時の炊き出し実習」「コミュニケーションワークショップ」「赤十字救急法」と充実した内容で研修を行いました。少人数ながらも和気あいあいとした雰囲気の中で進められ、参加した方々も充実感を得たようでした。受講後、ユースパルの事業を紹介し、事業ボランティアとしての参加を要請しました。



H29年度からは、養成事業を廃し、主催事業にボランティアとして参加された方を対象に、ユースボランティアとして認定いたします。



平成29年度の予定
通年

7 ヤングフェスティバル (H16年度からの事業)

期 日：平成28年10月2日(日)

会 場：イオンモール秋田 1Fセントラルコート

秋田県青少年交流センターでは、ユースパルを利用する青少年団体等や高校生、大学生、地域の方々の文化活動の成果を発表・展示する機会を提供しています。今回はイオンモール秋田を会場に、14組の方々にパフォーマンスを披露していただきました。ビートファイターACEのダンスとヒーローショーに始まり、小学生から大人までの5つの団体によるヤートセの競演、若手シンガーソングライターによる弾き語り、最近注目のパフォーマーによる大道芸、若手アーティストのライブペイント、歌唱力抜群のアマ歌手の歌と続き、最後は県内若手アーティストであるYummiさんの公演で締めくくられました。秋田を拠点とする若いアーティストの方々に、多くの来場者から暖かい拍手が送られました。



平成29年度の予定
平成29年10/1(日)

8 青少年団体間交流会 (H18年度からの事業)

期 日：平成28年12月2日(金)

参加者：県内5団体5名(男子4名、女子1名)

県内各地で活躍する様々な青少年団体に呼びかけ、各団体間の活動等の情報交換を図るとともに、ユースパルを拠点として活躍できるよう連携と協力関係を深めることを目的に開催しました。

今年度は「秋田県連合青年会」「ガールスカウト秋田県連盟」「秋田カタンクラブ」「秋田で幸せづくりを考える繋がり」の5団体が集い、「ファッションカフェ」と題してオリジナルスマイル研究所代表の小山田氏から「活動を深めよう！～Y.P.で何が出来る？～」というテーマでワークショップを行っていただきました。その後、互いの団体の特徴や課題などについて熱心な意見交換が行われ、他団体との連携の在り方やユースパルのサポートの在り方などについて模索しました。



平成29年度の予定
平成29年12/1(金)

9 対人関係能力向上セミナー「ユースパル夜学塾」(H22年度からの事業)

期 日：平成29年3月10日(金)～11日(土)

参加者：12名(男子10名、女子2名)

職場の枠を超えた交流を行い、自分を取りまく社会や地域を見つめ直し、より良い地域社会を創るために何が必要かを考える機会を提供することを目的に開催しました。

今年度は(株)あきた総研代表取締役須田絢彬氏による「やる気スイッチON!～モチベーション講座～」とラジオDJ藤田ゆうみん氏による「地域で働く面白さ～あなたは楽しんでますか?～」という2本の講座を中心に実施しました。



平成29年度の予定
I期：平成29年6/16(金)
II期：平成29年9/15(金)

皆さん仕事を終えてからの参加でしたが、モチベーションアップについての理解を深め、地域に関わる楽しさを実感したようでした。少人数ながら充実した一時を過ごすことができたとの感想をいただきました。

10 なまはげきゃんぷ (H18年度からの事業)

期 日：平成29年1月13日(金)～15日(日)

参加者：7名(男子4名、女子3名)

ユースパルでは、人付き合いは得意ではないけれど様々な能力や可能性を秘めた若者に、自然体験や生活体験等を通して、社会参加を目指すきっかけを提供し支援しています。今年のきゃんぷでは、さまざまなコミュニケーショントレーニング、土崎港ばやし体験、県森林学習交流館での自然散策やクラフト体験、風呂敷体験など多彩な内容を揃え、充実した三日間を過ごしました。



た。世代を越えた交流や新たな出会いに感謝するという感想が聞かれました。それぞれが明日へのエネルギーを得て、笑顔で散会しました。

平成29年度の予定

平成30年1/12(金)～14(日)

11 地域青年リーダー養成 (H16年度からの事業)

期 日：平成28年12月9日(金)～10日(土)

参加者：9名(男子9名)

第13回「お～い！わけ者えだが～!!」並びに第61回秋田県青年問題研究集会を秋田県青少年交流センターを会場に開催しました。昨年の青研において県団役員が行ったKP法を各々に用いてもらい、今日までの出来事や悩みなどを簡単にまとめて原因を出し、解決策を発表してもらう形で、それぞれの年間の活動発表をしてもらいました。質問・意見の交換では、忌憚のない発言があり、大いに盛り上がりました。さらに、来年の抱負を一人ずつペーパーで発表し、充実した会となりました。



平成29年度の予定

平成30年1/20(土)～21(日)

12 市町村公民館連携事業 (H21年度からの事業)

青少年の自立・社会参加活動支援事業の一環として実施しています。市町村公民館や地域社会との連携を図り、青少年や団体活動の発掘や育成を目指し、年間を通して社会教育事業を展開している地域を支援します。

※「2017手づくりフェスタ」平成29年2月25日(土)

八郎潟町えきま交流館はちパルで約150名の参加者を得て行われました。



平成28年度 学校団体のセカンドスクールの利用状況

利用校種別	学 校 数				利 用 人 数			
	県北	中央	県南	全県	県北	中央	県南	全県
幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0	0
小 学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
中 学 校	15	12	10	37	1,616	1,530	1,260	4,406
高 等 学 校	0	2	0	2	0	192	0	192
特別支援学校	0	1	2	3	0	30	96	126
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	15	15	12	42	1,616	1,752	1,356	4,724

※セカンドスクールの利用とは



学校の授業として、児童生徒が学校を離れた場所で、自然体験、社会体験、共同生活体験などの様々な活動を行います。

※研修室利用料金が無料、宿泊料金が通常の半額程度となります。

※希望により、28人乗りの送迎バスが利用可能です。

※ユースパル研修スタッフ(ファシリテーター)による研修の指導も可能です。

- ①コミュニケーション能力向上体験型学習(CHR研修)
- ②ニュースポーツ(キンボール、室内ペタンクなど)
- ③プロジェクトアドベンチャー系ゲーム(アイスブレーキングを中心にしたレクリエーションゲーム)

平成29年度 秋田県青少年交流センター主催事業（予定）

1 学校外教育活動支援事業

事業名	目的	日程等
①高校生徒会 ネットワーク会議	県内の高等学校生徒会役員が一堂に会し、充実した生徒会活動を推進するための情報を交換し合う機会を提供することで、生徒会ネットワークの形成を図ります。	平成29年 5月19日(金)～20日(土) 秋田県青少年交流センター
②高校生リーダー養成 「ニューリーダーセミナー」	様々な分野の高校生リーダーが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとして必要な資質の向上を目指します。	平成30年 2月16日(金)～17日(土) 秋田県青少年交流センター
③高校生のための 主権者セミナー	18歳からの選挙権の付与に伴い、高校生を対象に投票権の行使や政治的教養について学ぶ機会を提供し、主権者としての自覚の高揚を図ります。	平成30年 2月17日(土) 秋田県青少年交流センター
④青少年国際交流事業 Ⅰ期：秋田県高校生韓国訪問 Ⅱ期：韓国高校生秋田県訪問	海外の青少年との相互交流を通じて交流先の文化や歴史を学ぶとともに、コミュニケーション能力を高め、国際感覚を身につけた青少年の育成を図ります。	Ⅰ期：平成29年 7月27日(木)～31日(月) Ⅱ期：平成29年 8月3日(木)～7日(月)
⑤イングリッシュキッズ プロジェクト	県内小学校6年生を対象に、英語を使った活動・体験する機会を提供し、英語をより身近に感じ、自らコミュニケーションをとる積極性を育みます。	平成29年 8月10日(木)～12日(土) 秋田県青少年交流センター

2 青少年の自立・社会参加活動支援事業

事業名	目的	日程等
⑥ユースボランティア 認定事業	ユースパル主催事業のボランティア活動に参加された高校生や大学生、一般の方を対象に、ボランティア活動の認定をします。	通年
⑦ヤングフェスティバル	ユースパルを利用する青少年団体や高校生、大学生等のグループ活動の成果を発表する場を提供することで、若者の活動の活性化を図ります。	平成29年 10月1日(日) イオンモール秋田（予定）
⑧青少年団体間交流会	各青少年団体やグループ、サークルのメンバーが集い、活動内容等の情報交換を図るとともに、団体間での連携や協力関係を深めます。	平成29年 12月1日(金) 秋田県青少年交流センター
⑨ユースパル夜学塾	若者に自分を取りまく社会や地域を見つめ直す機会を提供し、自主性や社会参加意識を育みます。また、交流によって幅広いネットワークの構築を図ります。	平成29年 6月16日(金) 9月15日(金) 秋田県青少年交流センター
⑩「なまはげきゃんぷ」	人付き合いが得意ではないが、様々な能力や可能性を秘めた若者(青少年)に、体験活動を通して社会参加を目指すきっかけを提供し、自立を支援します。	平成30年 1月12日(金)～14日(日) 秋田県青少年交流センター他

3 その他事業（指定管理者自主事業）

事業名	目的	日程等
⑪地域青年リーダー養成 「お～い！わけ者えだが～！！」	県連合青年会が主体となり、各地域に住む青年と語り合い、青年団体の再構築を図るためのリーダー育成を支援します。	平成30年 1月20日(土)～21日(日) 秋田県青少年交流センター
⑫市町村公民館連携事業	市町村公民館や地域社会との連携を図り、青少年や団体活動の発掘、育成を目指し、年間を通して社会教育事業を展開している地域を支援します。	年間（地域によって設定日が異なります）